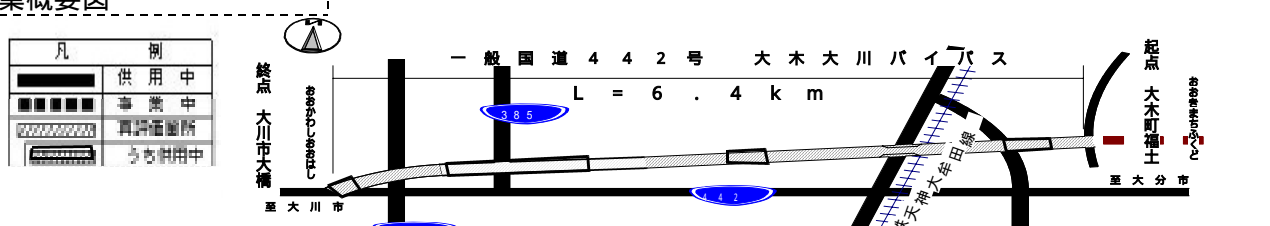


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道442号 <small>おおきおおかわ</small> 大木大川バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県三潴郡大木町大字福土 至：福岡県大川市大橋			延長	6.4 km	
事業概要	三潴郡大木町福土から大川市大橋間において、交通混雑の解消及び九州縦貫自動車道八女ICへのアクセス向上を図るため、延長6.4kmのバイパス事業を昭和63年度から実施している。現在までに約2.1kmの供用を開始している。					
S63年度事業化	H63都市計画決定 (H年度変更)		S63年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	107億円	事業進捗率	87%	供用済延長	2.1 km	
計画交通量	23,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 36/153億円 事業費：31/148億円 維持管理費：5/5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 184/240億円 走行時間短縮便益：165/223億円 走行費用減少便益：10/4億円 交通事故減少便益：9/13億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する） 災害への備え（対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある） <p style="text-align: right;">他1項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	昭和57年度に16市町村により一般国道442号整備促進期成会（会長 中津江村長）が発足している。その他に、国道442号（大川、矢部間）整備促進期成会（会長 矢部村長）、国道442号バイパス道路新設促進期成会（会長 大川市長）などの期成会があり、国や県に対し活発な要望活動（H15.11）が行われている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	現在、有明海沿岸道路などの新しい幹線道路が事業中であり、九州新幹線などの広域な高速交通体系が構築されつつある。昭和63年度の交通量12,300台/日から平成11年度の交通量14,860台/日となっており、約2割の交通量が増加している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに約2.1kmを部分供用しており、平成15年度末までに87%の事業進捗の予定。 残事業：物件3件、用地面積 A=15,000m ² 、橋梁1橋、舗装 L=1.7km					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成10年代後半の完成に向けて、用地買収が終了後、速やかに工事に着手し、事業を進捗していく。					
施設の構造や工法の変更等	経済性を考慮した最適な平面や縦断の線形を選定するとともに、各種工法の採用においても常に経済性を視野に入れて、コスト削減を図っている。今後も、新工法・新技術等を積極的に検討・採用し、コスト削減に努めていく。					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	当該路線は、筑後地域を東西に横断し有明海沿岸道路と九州縦貫自動車道を連絡する広域な交通を担う重要な路線であり、第1次緊急輸送道路ネットワークに指定されるものの、交通混雑が著しくその機能を十分に果たせない状況にある。また、歩道未整備区間もあり交通安全上極めて危険な状態である。これらの状況を改善し安全で安心できる生活環境を創出するため					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。